

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
地域と文化 Region & Culture II	選	赤崎 雄一	5年生 電機情報工学科	1	半期 週2時間							
授業概要	それぞれの地域の抱えるさまざまな社会問題を、歴史的背景を重視しながら解説する											
到達目標	国際的視野を持った技術者をめざし、宗教・多民族社会など異文化理解を深める（A）											
評価方法	一回の定期試験（70％）とレポート点（30％）で評価する											
教科書等	プリントを配布											
内 容	インドネシア・バリ島の歴史と文化				学習・教育目標							
第 1 週	アジアから考える。インドネシア概論				A							
第 2 週	インドネシアでの生活				A							
第 3 週	インドネシア古代史と世界遺産				A							
第 4 週	ヨーロッパ人の到来と蘭領東インドの形成				A							
第 5 週	蘭領東インドと女性				A							
第 6 週	日本軍政期のインドネシア				A							
第 7 週	インドネシア共和国と日本				A							
第 8 週	ジャワ島の文化				A							
第 9 週	バリ島の文化				A							
第10週	バリ島の社会				A							
第11週	バリ島と観光				A							
第12週	インドネシアの宗教事情				A							
第13週	ジャカルタと都市文化				A							
第14週	インドネシアの映画				A							
第15週	近年のインドネシアと日本				A							
第16週												
第17週												
第18週												
第19週												
第20週												
第21週												
第22週												
第23週												
第24週												
第25週												
第26週												
第27週												
第28週												
第29週												
第30週												
（特記事項）		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a)d)	d2b)c)	e	f	g	h
		本校の学習 ・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

# ガイドンス

## 地域と文化 インドネシア・バリ島の歴史と文化

世界地図の上の日本から南に目を向けてみると、「赤道をとりまくエメラルドの首飾り」といわれるインドネシアの島々を見つけることができます。古くから日本との交流があり、現在ではバリ島を中心に多くの観光客を惹きつけている場所です。また、世界で4番目の人口を抱える大国でもあり、機械・電機・化学・建設などあらゆる業種の日本企業が多く進出しています。

この授業ではインドネシアの多様で豊かな社会について紹介したいと考えています。日本や欧米と異なる価値観に出会えるかもしれません。

全体の構成は3部に分かれます。

### 第1部 第1～2週 インドネシア概論

### 第2部 第3～7週 インドネシアの歴史

この部分では、インドネシアの歴史について概説します。古代から中国、インドの文化的影響を強く受け、交易国家として発展する国が成立します。16世紀になるとヨーロッパ勢力が進出します。その中でもオランダはやがてインドネシアの大部分を支配するようになります。20世紀になると日本も深く関係していきます。第二次世界大戦時には軍政をひき、戦後も日本企業が多く活動する地域になります。

### 第3部 第8～15週 インドネシア・バリ島の文化と社会

この部分では、インドネシアの文化的側面に注目し、現代社会について解説します。インドネシアには多くの民族があり、それぞれが多様な文化を持っています。特に日本人にとってなじみがあるジャワとバリの文化について学びます。